



三木町

No.139  
2012.April

# 議会だより

<http://www.town.miki.lg.jp/>



まちにまった入学式(平井小学校)

## 3月定例議会

- 特集 ..... 3~6  
24年度当初予算 集中審議
- 一般質問 ..... 10~17  
8人が登壇・町長に見解を求める
- 決算特別委員会指摘事項 7項目 ..... 18  
町長は、こう答えた!
- 元気なグループ紹介 ..... 20  
カラオケ「ひいらぎ」会



町木:クロガネモチ



▲本会議採決の様様(H24.3)

# 3月 定例議会

百眼百考会議からの提案10事業を予算化

## 7,486万円

### 一般会計歳入

主な歳入	予算額	前年対比
町税	24億8,154万円	3.6%減
基金からの繰入金	7億8,740万円	6.7%増
地方交付税	19億円	0.0
国・県支出金	14億9,130万円	4.1%減
町債(借金)	5億6,380万円	14.6%増

### 一般会計歳出

主な事業	事業費
にぎわいづくり事業	3,146万円
社会福祉施設整備事業 (田中幼稚園天枝分園改修事業)	1,576万円
総合運動公園施設整備事業 (野球場観覧席上屋新設工事等)	3,065万円
防災倉庫整備事業(9カ所)	1,780万円
ため池ハザードマップ作成事業	3,500万円

### 特別会計等の当初予算

国民健康保険事業特別会計	31億2,900万円	
簡易水道事業特別会計	1,050万円	
農業集落排水事業特別会計	1億260万円	
介護保険事業特別会計	24億9,750万円	
公共下水道事業特別会計	2億4,380万円	
介護予防サービス事業特別会計	2,570万円	
後期高齢者医療事業特別会計	3億560万円	
水道事業会計	収益的収入	4億9,716万円
	収益的支出	4億7,963万円
	資本的収入	7,669万円
	資本的支出	1億9,218万円

平成24年第1回定例議会は、3月7日から23日までの17日間の会期で開会された。初日は、町長の施政方針演説と、決算特別委員会指摘事項に対する状況報告に続き、23年度の補正予算案8件と、新年度に向けての一般会計・特別会計の当初予算案など26議案が上程された。一般質問では、8人が登壇し、2日にわたり町行政全般について町長の見解を求めた。最終日には、人権擁護委員に八木道明氏の任命同意に続き、議員提案による専決処分事項の指定を追加し、全28議案を原案どおり可決し23日に閉会した。

新年度に向け、28議案すべてを可決

(一般会計80億7000万円・7特別会計63億1470万円)(水道事業会計を除く)

# 24年度予算総額は、143億8,470万円



# 集中 審議

平成24年度当初予算  
一般会計

0.7%減

# 80億7,000万円

## 予算編成方針

平成24年度の当初予算編成に当たっては、第5次三木町振興計画「人と地域が輝き、活力と笑顔あふれるまち三木」を達成するための行政課題に対応するとともに、「百眼百考会議」からの提案書に基づく事業や、発生率が高まっている東南海・南海地震などの防災対策にかかる事業に予算を重点配分した。

## 一般会計

**問** 桑井議員

たばこ税は、三木町にいくら入っているのか。

**答** 総務課長

1箱410円のうち92円である。

**問** 藤井議員

財政調整基金からの、繰り入れについて伺う。

**答** 総務課長

当初予算が立てら

れない場合、財政調整基金でまかなう。

**問** 桑井議員

財政調整基金を取り崩すのをやめて、災害時に使える災害時の基金を設けてはどうか。

**答** 町長

長期的にみるとプライマリバランスが重要ではないか。プライマリバランスで見ると、町の財政は、健全である。

**問** 藤井議員

職員給与の試算は、どのようにしているのか。

**答** 総務課長

国の、ラスパイレス指数を参考にしてている。

**問** 香西（義）議員

地方交付税収入についての見通しを尋ねる。

**答** 総務課長

平成22年度は20億円。23年度も20億円だ

った。平成24年度は、19億円程度を見込んでいる。

**問** 香西（義）議員

臨時財政対策債を3億5千万円予算化しているが、どのような見通しか。

**答** 総務課長

地方交付税が少ない場合、地方債を発行し不足分を補う予定で、前年度並みの予算化をした。

**問** 三木議員

七飯町との人事交流で、町の総合力が落ちるのではないか。

**答** 町長

人事交流で職員のレベルアップをはかる。いろいろな者が違う

所で経験を積み、経験を踏まえて、長期的には職員の視野が広がる。

**問** 桑井議員

百眼百考に全体予算

の1パーセントは多いのではないか。

**答** 町長

真剣に議論するあかしとし、また実行するために1パーセントが必要ではないかと思う。



▲好評な受付

**問** 白井議員

受付業務を委託して1年になるが、評価・反響は。

**答** 町長

サービスが徹底していて、好評である。



▲ふれあいまつりから新企画にぎわいづくり事業へ  
(写真:H22ふれあいまつり獅子舞フェスタ)

# 集中審議

## 問 渡辺議員

コミュニティバスの運行ができていない山間部等について、老人大学の送迎バス等の活用はできないのか。

## 答 政策情報課長

山間部等については、福祉タクシーの検



▲子どもがよるこぶ獅子のバス

討や、老人大学の送迎バスの活用などを考えていく。

## 問 西丸議員

社会福祉協議会が指定管理者となっている施設（福祉センター・あけぼの荘・平木コミュニティ会館等）の経費が年々増加しているが。

## 答 健康福祉課長

施設の老朽化による修繕と職員給与の定期昇給による増加である。

## 問 渡辺議員

シルバー人材センターの役割は重要と思うが、補助金の引き上げなど検討できないのか。

## 答 健康福祉課長

社会福祉協議会へ委託している事業である。現在119人が登録され活動している。6110件の仕事を受注し、のべ6915人が従事した。補助金は増

額している。

## 問 白井議員

子育て支援券の減額理由は。

## 答 住民生活課長

平成23年から支援券の就学前交付を取りやめ、出生時交付のみになったためである。

## 問 原田議員

平成24年度からの新子ども手当は、どの程度増加するのか。また、その財源は、扶養控除廃止により、住民税の増加で補えるのか。

## 答 住民生活課長

現行の子ども手当から新規児童手当に代わり、高所得世帯には、6月から新たに所得制限を導入し、所得制限を超える世帯（夫婦と子ども2人世帯で年収960万円以上）は、子ども1人あたり月5千円を支給する。

支給制限の対象にならない世帯の支給額は現行と変わらない。

## 問 白井議員

しずかの里への進入路の路面舗装が非常に痛んでいる。補修してもらえるのか。

## 答 土木建設課長

町道で町の管理なので、痛んでいれば補修をする。

## 問 富田議員

埋立処分地浸出水運搬委託料600万円とあるが、新たに独自の運搬車を購入し、溶融センターでの処分を実施することで経費の削減を図るといふことはなかったのか。

## 答 環境保全課長

昨年11月から自前の運搬処理を行い経費の削減を図っているが、台風や大雨等の対応に臨時搬送便が必要になる可能

性があるため予算化している。

## 問 渡辺議員

畜産業費や林業費など、もう少し積極的な予算は組めないのか。

## 答 産業振興課長

畜産業費は、感染症対策などの消毒液等の配布を行なっている。業者には、別に県の制度より支援が行われている。林業費についても、下草刈り等への補助を行なっている。

## 問 原田議員

町道三木志度線、正一駒足線今後の見通しは。

## 答 土木建設課長

町道三木志度線は全体2・4キロメートルで現在の進捗率は72・5パーセントである。正一駒足線は、2カ所の未施工（水路用地、集会所用地）があ

り、交渉が難しい状況である。



▲開通が待たれる町道正一駒足線

## 問 渡辺議員

町道砂入荒木線の用地取得や整備はどうなっているのか。

## 答 土木建設課長

用地取得が難航しているが、地権者の理解を得るため交渉し努力している。

# 集中審議

**問** 村松議員

備蓄物資（防災対策280万円）、どこに何があるか広報などで知らせるべきだ。

**答** 総務課長

ポリタンク5個を各防災組織に配布した。防災倉庫9カ所は、広報等で周知する。

**問** 原田議員

防災対策に対するハード、ソフト両面の予算総額と危機管理体制の方針は。

**答** 総務課長

東南海・南海地震に備え、危機管理係を専任している。予算総額は、ハザードマップ作製など3億6886万

4千円である。

**問** 渡辺議員

女性消防団の創設や、団員の加入は難しいのか。また、消防施設の屋外スピーカーの音が聞こえない地域がある。対策が必要ではないか。

**答** 総務課長

現在、消防団活動は、6分団13部230人の団員が活動を支えている。女性消防団の創設は、町としては前向きに考えていく。屋外放送中継局は31カ所設置し放送している。デジタル方式に対応した設備が求められているが、防災

ラジオを中心に整備を進めている。

**問** 香西（義）議員

文化交流プラザの施設整備工事、また総合運動公園整備工事ほどのような内容か。

**答** 教育長

文化交流プラザの駐車場が痛んでいるため、舗装工事を実施する。総合運動公園は、野球場の観客席の屋根を新設する。その他共同福祉施設のシャワー設備、トイレ、バーベキュー場を整備する。第二サッカー場のトイレも改修する。



▲屋外放送中継局(上)・防災ラジオ(下)

**問** 桑井議員

平井小学校グラウンドが一部借地になっているが、将来的な計画は。

**答** 町長

現在の評価額で買い取りをするために検討している。

**問** 富田議員

廃園となる田中幼稚園天枝分園の活用計画の内容説明を求める。

**答** 住民生活課長

高齢者や子どもものた



▲屋根が新設される野球場

**答** 町長

補助金は、取り扱いが難しい。行政がお世話をすることで、中身の効果上がる。

平成24年度  
三木町一般会計予算  
(賛成14・反対1)

**反対討論**

渡辺達実議員

町税滞納者への町独自制度利用制限や、同和対策事業費が継続されている。予算を見直すべきで、反対である。

**賛成討論**

原田照治議員

住民福祉の充実をはじめ、保健・環境衛生、安全安心対策、道路網、産業振興、教育、文化の向上など、町民の実生活に直結した大切な施策を行なうための予算が網羅されており、賛成である。

# 集中審議

## 国民健康保険

## 農業集落排水事業

## 介護保険

国民健康保険事業特別会計  
簡易水道事業特別会計  
農業集落排水事業特別会計  
介護保険事業特別会計  
公共下水道事業特別会計  
介護予防サービス事業特別会計  
後期高齢者医療事業特別会計

### 特別会計

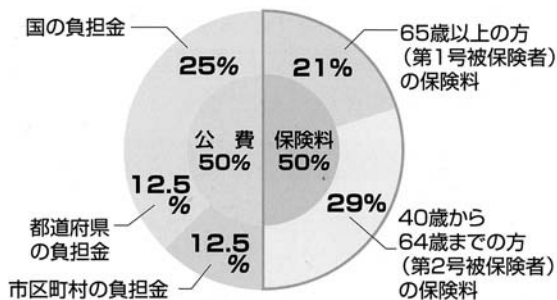
# 63億1,470万円

## 1.8%減



▲デイサービスで今日も元気(あけぼの荘)

### 介護保険の財源



### サービスの利用者負担 (原則として費用の1割です)

※ただし、施設等給付費については、国の負担金20%、都道府県の負担金17.5%になります。

**問** 渡辺議員  
国民健康保険税の負担軽減のため、繰入金からの増額は検討したか。

**答** 健康福祉課長  
医療給付費が増加し、赤字分を補填するために繰入金を活用している。負担軽減のための繰入金増額は難しい。

**問** 白井議員  
農業集落排水と公共下水道の使用料はどうなるのか。

**答** 上下水道課長  
公共下水道はまだ供用していないが、同じ使用料にするのがよいと考えている。

**問** 渡辺議員  
介護保険料の改定が行われ5600円となり、負担が増加する。なぜ保険料が高くなるのか。

**答** 健康福祉課長  
保険制度の仕組みが、利用が増えれば保険料が増大するものとなっているため、保険料負担が増大している。国や県に対して町の

**問** 香西(義)議員  
新介護保険料の算出根拠と県の財政安定化基金の活用は。

**答** 健康福祉課長  
今後3年間の介護給付費の総額から保険料必要額を算出し、県基金を減じて、第1号被保険者数で割り、基準月額5600円を算出した。

**問** 高藤周介議員  
下水使用者数約1万人強の三木町に、本当に下水処理場が必要なのか分からないので、反対する。

**答** 賛成討論  
渡辺達実議員  
町民の生活にとって重要な施策であり、早期の完成が求められており、賛成である。

**反対討論**  
平成24年度  
公共下水道会計  
(賛成14・反対1)

# 議案を 審議

社会福祉士などの  
雇用形態を見直し

**問** 詳細説明を。

**答** 健康福祉課長

地域包括支援センター・社会福祉士・主任ケアマネージャーを非常勤の特別職から一般の非常勤にする。

# 人事

人権擁護委員に  
八木道明氏を推薦



平成15年7月就任以来  
4期目 大字井上(70歳)

**七飯町との人事交流  
職員に移転料を支給**

**問** 交流期間と帰省  
の際の旅費の支給は。

**答** 総務課長

期間は2年で、出張扱いとして旅費の



▲大沼公園(七飯町)

支給がなされる。

**「瀬戸・高松広域定  
住自立圏の形成に関  
する協定」に新たな  
取組事業を追加**

**問** これまでに協定  
の変更はあったのか。

**答** 政策情報課長

事業数が追加される都度、変更している。

**土地開発公社定款の  
一部を変更**

**問** 土地開発公社の  
廃止は考えているか。

**答** 副町長

今の時点では、考えていない。

**町営住宅の  
入居資格を規定**

**問** 古い物件には入  
居者を入れないのか。

**答** 土木建設課長

耐用年数も過ぎ耐震問題もあるので空き家になれば随時除去する。

**問** 今後建て替えの計画は。

**答** 町長

公営住宅の責務は終えたと考えられるので、新規計画はない。今後は民間にゆだねる。

**問** 更地の利用計画は。

**答** 町長

民間に、売却するか更地のまま管理する。

**介護保険条例の一部  
改正、保険料を56  
00円に値上げ**

**問** 高くなっている保  
険料を抑制する手立  
てはないのか。

**答** 健康福祉課長

高齢化の進展に伴う

介護サービスの利用者増加により、介護給付費が増大している。国の制度の中で動いているものであり、町単独での抑制策の執行は難しい。

**三木町東日本大震災  
被災児童・生徒ホーム  
ステイ基金条例を廃止**

**問** 震災被災者への支  
援活動について、今後の  
活動はどうするのか。

**答** 教育総務課長

被災地支援策として、町内39軒のホストファミリー協力のもと、総勢112人の受入を行

なってきた。今後も側面からの支援等、臨機応変に対応していく。

**白山幼稚園鹿庭分  
園、田中幼稚園天枝  
分園を廃園**

**問** 廃園した後の利用計  
画はどうなっているのか。

**答** 町長

白山幼稚園鹿庭分園は、併設の神山保育所が手狭なため、一部を保育所が使用する。

田中幼稚園天枝分園は、老人憩いの場や子育て支援の施設として使用する。



▲田中幼稚園天枝分園

# 議案を 審議

## 平成23年度一般会計 補正予算(第8号)

1億5073万円の一般会計補正予算案など補正予算関連8議案を原案どおり可決した。

一般会計の主な補正は、小中学校の空調整備に1億6036万円、農道の舗装事業に1億2038万円などの追加である。

**問** 香西(義)議員  
町たばこ税追加の理由は。

**答** 税務課長  
平成22年10月の、税率が40パーセント引き上げによる追加である。

**問** 富田議員  
防犯灯修繕費は、防

犯灯LED化の費用か。

**答** 総務課長  
LED灯への改修を促進している。

**問** 桑井議員  
財政調整基金の残高は。

**答** 総務課長  
平成23年度末で21億7479万6千円となる。

**問** 三木議員  
1億2000万円の農業体質強化基盤整備促進事業農道舗装の採択基準は。

**答** 土木建設課長  
農作物を搬出できるよう道幅4メートル以上、山南は3メートル以上である。

**問** 渡辺議員  
三木町議会はTPPへの参加反対の意見書を決議してきた経過がある。

**答** 産業振興課長  
当初年2回草刈を予定していたが、執行

農業体質強化基盤整備促進事業費を活用して大丈夫か。

**答** 町長  
私はTPP参加に反対している。この予算は国の施策であり、交換条件としてはおかしい。制度を使ったとはいえ、賛成ということではない。

**問** 香西(義)議員  
小・中学校の学校施設整備費追加の理由は。

**答** 教育総務課長  
小・中学校に空調設備の設置工事を行う。



▲未舗装農道

**問** 白井議員  
白山景観維持管理委託料の減額内容は。

**答** 健康福祉課長  
国保加入世帯数は、平成24年3月1日現在3905世帯である。国保税を滞納している場合、短期保険証を

していないため、ボランティアが刈った草の処分のみ行った。

**問** 香西(義)議員  
小・中学校の学校施設整備費追加の理由は。

**答** 教育総務課長  
小・中学校に空調設備の設置工事を行う。

## 平成23年度国保事業 特別会計補正予算 (第2号)

**問** 渡辺議員  
国保税が高くなりすぎていて、払いたくても払えない世帯がある。現状はどうなっているのか。

**答** 健康福祉課長  
国保加入世帯数は、平成24年3月1日現在3905世帯である。国保税を滞納している場合、短期保険証を

発行しているが、14世帯ある。1年以上滞納して資格証明書発行となつている世帯は、23世帯である。納付できない世帯については、納税相談等に対応している。

**問** 香西(義)議員  
通所介護予防事業委託料の減額理由は。

**答** 健康福祉課長  
法改正で二次予防事業参加者が減少したことから減額した。

## 平成23年度介護保険事業 特別会計補正予算 (第2号)

### 「専決処分事項の指定について」

三木町議会の権限に属する事項中、次の事項は、町長の専決処分事項に指定する。これは、議員発議によるものである。

1. 議会の議決を経て締結した工事または製造の請負契約に関し、500万円以内の変更契約を締結すること。
2. 町営住宅の管理上必要な訴えの提起、和解および調停に関すること。
3. 法律上町の義務に属する損害賠償で、100万円以下の額を決定すること。ただし、賠償責任保険等の損害保険金の範囲内であれば、100万円を超える場合も同様とする。
4. 10万円以下の賠償責任の全部または一部の免除に関すること。

# 委員会 レポート

## 教育民生

2月開会

趣旨採択と  
すべきことに決定

継続審査中の「高齢者のはり・きゅう・マッサージ治療に対する助成金確立」を  
求める陳情について、  
審査をした。

**問** 要望書の提出先が、県下8市9町のうち3市5町であるが、今後どうなるのか。

**答** 健康福祉課長  
最終的には、県下すべての市町へ提出されるものと理解している。

**問** 趣旨は理解できるが、費用等細部を詰め

る必要があるのではないか。

**答** 健康福祉課長

他県の例から、1回あたり料金の上限額、ひと月あたりの回数制限を設けることにより、費用はあ  
る程度抑えられる。  
また、助成対象者は、  
国民健康保険加入者  
に限られている。

(その他報告事項)

「高齢者保険福祉計  
画」により、今後3年間  
の新介護保険料が決定。



▲あけぼの荘

学校適正化審議会の  
答申が報告された。

平井地区の幼稚園を  
統合し、町内幼稚園教  
育をリードする幼稚園  
型「認定こども園」を  
作るべきというもので  
ある。

## 下水道推進

3月開会

農業集落排水処理方法を  
公共下水道へ一本化

農業集落排水事業  
三木東地区の計画変  
更として、処理人口と  
処理区域、および処理  
方法を公共下水道へ  
接続して処理すること  
について審議した。  
見直し後の人口3  
170人、戸数939  
戸と減少すること、処  
理経費も年10万円程  
度有利であることなど  
が報告され、委員会と  
して計画変更を了承  
した。



▲公共下水道処理場予定地

**問** 区域から除外とな  
る西土居地区への今後  
の対応は。

**答** 上下水道課長  
合併処理浄化槽でお  
願いたい。

**問** 三木東地区を公共  
下水道に接続しても、  
残る管路布設工事は農  
業集落排水事業で取り  
組むのか。

**答** 上下水道課長  
接続後も、農業集落  
排水事業で取り組む。

### 請願・陳情のゆくえ

平成23年 陳情第1号 (平成23年7月15日 受付)  
高齢者のはり・きゅう・マッサージ治療に対する助成金制度確立について

趣旨採択

高松市上福岡町2023-8 社団法人 香川県鍼灸マッサージ師会 会長 山本 英介  
高松市上福岡町3-24-7 社団法人 香川県鍼灸師会 会長 佐々木 勝  
三木町池戸2851-1 柴田鍼灸治療院 院長 柴田 芳博

平成24年 陳情第1号 (平成24年2月22日 受付)  
子ども達の生き生きとした活動環境の整備と場の提供を求める陳情書

総務建設  
常任委員会へ  
付託

木田郡三木町大字鹿伏335番地4 地域で子育てを考える会 代表 富田 加織 署名延べ1242名

平成24年 陳情第2号 (平成24年3月5日 受付)  
新システム保育制度改革に関する要望書

教育民生  
常任委員会へ  
付託

三木町私立認可保育所所長会 大宮保育園園長 貞中 明美 他4園・所長

(平成24年2月3日受付)  
四国地方整備局および各事務所の存続を求める陳情書

議員配布

香川県高松市サンポート3番33号 国土交通省管理職ユニオン四国支部 執行委員長 黒川 威

## 8人が町政を問う

### 問 地方債（借金）残高の抑制は

### 答 事業の選択に努める



一般質問  
香西 義典 議員

地方債（借金）残高は、平成22年度末で、全会計98億2556万円である。

本町も以前に増して大変厳しい財政状況にあり、未来の子どもたちや将来の三木町につけを回してはならないため、今後、地方債残高抑制について、どのような考えで取り組むのか。

町長

町の財政運営においては、財政構造の弾力性を確保し、健全な財政運営に資するため、施策や事業の選択にあたっては、優先順位の厳しい選択を行う。

その重要性、緊急性を慎重に検討している。

### 戸籍謄本等の不正取得の防止を

興信所から依頼を受けた有資格者が身元調査に利用するために、戸籍謄本、住民票を不正取得したことが、新聞報道等で明らかになった。

本町としても不正取得による人権侵害を防止、抑止する、※事前登録による本人通知制度を早急に導入すべきと考ええるが。

住民生活課長

この制度により、委任状の虚偽や身元調査等の不正請求の早期発見に繋がり、また、不正請求発見の可能性が高まれば、不正請求の抑

止効果も期待される。

本町は、本年7月実施に向け要綱作成に取り組んでいる。

※事前登録による本人通知制度とは  
あらかじめ登録された場合、戸籍謄本等を取得された場合、本人に取得された事実を通知する。

### スポーツ振興は

選手の育成強化には、ジュニア選手の育成や指導者の養成も大切である。

三木町の名を全国に発信できる選手の育成のため、どのような取り組みがされているか。

町長

平成23年度から

「プロスポーツクラブ試合観戦招待事業」を実施している。

トップアスリートの育成は、指導者が大きなウエイトを占めていると考え、今年度において、スポーツ少年団

### 教育長

各校区の見守り隊と学校、町育成センターの新たな地域の安全・安心確保の推進体制を新年度からスタートする。

今後の方針は。

### 子どもの安全対策は

の指導者を対象とした研修会を開催した。トップアスリートの育成という夢に向かってバックアップしたい。



▲見守り隊による交通安全指導（平木・荒木地区）

# 問 B級グルメを利用した町おこしの考えは

## 答 民間で育てていくよう町としても支援していく



一般質問  
富田 修司 議員

三木町における景気の浮揚策として、B級グルメを利用した町おこしの考えはあるのか。

町長

B級グルメは一朝一夕には行かないが、町としては「いちごワイン」や「なばな」などの特産物のほか希少糖など三木町らしさを出せるような特産品の発掘に力を入れて行きたいと考えている。

### 新規地場産業の育成を

新たな農業として、これから需要が増えると見られている漢方薬原料である生薬の栽培を三木町でも参入でき

ないか研究すべきでは。

### 産業振興課長

生薬栽培は、地理的条件、労働力の確保、事前投資、組織作り等の課題もあり、どの種類が適切であるかもこれからなるうかと考えられる。

### 教育の取り組み

現在、三木町の小学校、中学校で行われている2学期制の成果と課題はなにか。

教育長

小学校は、1学期の多忙感から開放され、学年初めに子どもと教師の触れ合う時間が増えたことや、保護者や地

域の人と落ち着いて向き合う時間が増えたことで一人ひとりの子どもが良くなるようになってきたことが一番の成果だ。

中学校は、新しい指導要領の下に各教科の内容が1・2倍から1・4倍と大幅に増加したことから、定期テストの範囲が広がりすぎて、学力の定着には、3学期制の選択が最適であり必要であるというのが学校現場の率直な意見だ。

三木町での3学期制への変更の考えは。

教育長

現在小・中学校で

検討しており、保護者の意見を聞くなど、年内を目的に、2学期制か3学期制か方向を決めたいと考えている。

### 子どもたちへの防災教育

東日本大震災を踏まえての、子どもたちへの防災教育は。

教育長

教員、児童生徒の実践力の向上に向けて、小・中学生対象に三木町独自の「子ども防災検定」初級（命を守る編）、中級（揺れの到達や町内の震度などの知識編）、上級（救急応

急処置編）を作成している。

また、実践的な避難行動が取れるよう、香川大学教授の講演を計画している。

東日本大震災後の防災教育の変更・改善点は。

教育長

町内の幼稚園や小・中学校も従来の

マニュアルの大幅な見直しを行い、ため池の堤の決壊なども想定した具体的な事案の追加をする。

学校教育活動中や登下校中に地震に出会ったときの児童生徒の避難行動や保護者への引渡し方法、連絡方法等について保護者と協議して、より実践的なマニュアルを作成している。



▲もしものための防災訓練(氷上小学校)

# 問 自然エネルギー確保への 取り組みは

## 答 住宅用太陽光発電の設置に助成する



一般質問  
原田 照治 議員

新年度予算に個人が設置する太陽光発電施設に対しての補助金制度が盛り込まれているが、今後、こうした自然・自給エネルギー確保への取り組みは。

町長

地球温暖化対策、エネルギーの安定供給、省資源環境への配慮といった観点から、自然エネルギー活用の推進を図ることは重要と考えている。

新年度から新たに住宅用太陽光発電システムの設置に対して助成を行う。補助金内容は、1キロワットあたり5万円で10万円が上限である。

役場の本庁舎を始め、公共施設の屋上や屋根に太陽光発電の設備を設置して、当該施設で使用する電力の一部を賄う考えは。

町長

太陽光発電設備には、初期投資に一定の経費が必要である。

このため、防犯灯や庁舎のLED化により消費電力を減らすことを優先し、その後、公共施設の太陽光発電に取り組みたい。

下水道処理場の建設に向けて取り組んでいるが、処理水の再利用として、小規模水力発電を検討してはどうか。

町長

下水道処理水を小規模水力発電に利用するには技術的な問題があるが、問題が解決できれば、ぜひ取り組み、周辺の家庭に電力を供給したいと考えている。

### 限界集落の現状は

65歳以上の高齢者が住民の50パーセントを超えた集落、いわゆる限界集落の本町の状況と10年後、20年後の状況について予測を問う。

### 産業振興課長

本町における限界集落は、町北部に1集落、中央部に2団地、

南部に12集落の合計15集落である。

高齢化が進んでいる中、10年後、20年後はさらに深刻な状況が想定される。

小蓑小中学校の跡地に希少糖研究研修センターが設置されたが、この施設が小蓑地区の活性化に果たしてきた成果を問う。

### 教育長

希少糖研究研修センターの存在と商品化がマスコミにも取り上げられ、国内外の研究者だけでなく、一般にも広く知られつつあり、本町や小蓑地区の地名度を高めている。今後の発展が

期待されている。雇用面では、地元の人を2人雇用している。

### 少子高齢化対策

健康で長寿を全うできる地域社会の構築には、ライフステージに応じて支援、さらには高齢者や障がい者が社会の一員として生きがいを持つて暮らせる人にやさしいまちづくりが必要と思うが。

町長

少子化対策については、若い世代が安心して子育てができ、次代の社会をなう子どもを安心して産み育てることができ環境づくりを進める。

高齢者対策については、介護が必要になっても住み慣れた地域で、必要なケアを受けながら、価値観や行き方が尊重された自分らしい人生を送ることができるよう支援していく。



▲希少糖研究研修センター

## 問 町民のくらしを守る

### 積極的な姿勢を

**答** 安心して生活できるようにしていく



一般質問  
渡辺 達実 議員

施政方針では、住民福祉の向上など、積極的な提案となっている。住民の声に真摯に耳を傾け、町民のくらしを守る防波堤として、町の積極的な姿勢を望む。

事業の推進にあたっては、住民の理解を得られるよう努力を求めてきたが、新たな方針の下で、どのような状況を問う。

更、公共下水道への接続について議会の承認を得た。今後は、三木東地区の推進協議会や関係者に説明し、協力をお願いしていく。処理場周辺のみならず、下水道事業や処理施設の必要性、建設に伴う雨水対策や新

町長

地方が担うべき行政サービスは、地域住民の生活と地域経済を守るため、地域住民が将来にわたって安心して生活できるよう、子育て支援の充実、地域医療の確保、高齢者や障がい者に対する福祉や介護支援を安定的に確保していく。

町長

農業集落排水事業の三木東地区の計画変

まには、下水道事業や処理施設の必要性、建設に伴う雨水対策や新



▲処理場予定地に設置された看板

町が実施している  
独自施策の充実を望む

川の水質が良くなること、施設の有効利用として、家庭菜園や多目的の広場としての活用、災害時における防災拠点として活用できることなど説明してきた。

町独自の施策の充実を望む立場から、町税滞納者に対する、町制度の利用制限の廃止を訴える。特に「放課後児童クラブ」、「育英資金」の利用制限はやめるべきだ。

町長

町税の歳入確保、税負担の公平性と納税意

識の高揚を目的としたものである。納税相談を行い、適正な運用に努めている。いずれも利用制限を受けている人はいない。

国民健康保険税や  
介護保険料の負担  
軽減策を講じよ

国保税や介護保険料が高くならず、払いたくても払えない状況である。町民の健康を願う立場から、軽減策を講じることを強く望む。

町長

医療費増大のため、財政調整基金を取り崩す状況が続いている。介護についても高齢化の進展などで給付費の増加が見込まれており、財政は厳しい状況である。

商工業の活性化のための  
施策の充実を願う

住民の福祉の向上と商工業の活性化につながる、住宅改修をする世帯に補助をする「住宅リフォーム」助成制度の創設を求める。

町長

商工会等への補助のほか、緊急融資制度を実施している。高齢者や障がい者対象の住宅改修制度は実施している。

同和行政を終結せよ

国の法律が終了している同和对策事業、同和行政を終結すべきではないか。

町長

すべての人の人権が尊重されてこそ自らの人権も尊重されるということの理解・認識を、人権啓発・人権教育活動を通して社会全体に広げるためにも、推進しなければならない。

下水道整備事業の  
取り組み状況と  
今後の課題

# 問 公用車運転業務の

# 効率化を図れ

# 答 現状では難しい



一般質問  
西丸 一明議員

各課にまたがる公用車運転は、縦割り行政の仕組みの中で行われている。

町長公用車、スクールバス、コミュニティバスの運転業務を一元化し、経費の節減を図るべきだ。

## 町長

コミュニティバスについては、2社の競争で決めている。

点検整備や安全面、運転手の確保などの点で、民間バス会社への委託が最も安全で効率的な方法と考えている。

スクールバス運転の勤務態勢は。

平日や長期休校な

らびに休憩時間はどのような扱いになっているか。

## 教育総務課長

校外学習の運転業務もあるが、主に登下校時の送迎であり、

休憩時間は拘束していない。

## 官民格差をなくせ

全国のタクシー運転手の平均賃金は年収2

40万円、

零細企業

の20パーセ

ントが年収

200万円

と言われている。

スクール

バスの運転

手賃金は年

収354万

円、町長車

の運転手賃

金は198

万円、民間

▲スクールバス(平井小学校)



バス会社に委託しているコミュニティバスに617万円。あまりにも格差があるのではないか。

## 町長

町でするとなると、整備費や維持費などで相当経費がかかる。

現状では委託した方が最善と考える。

## 運転代行システムの導入を考えては

町内のタクシー会社と提携し、全国に先駆けた新しい運転業務センターシステムなどを調査研究するつもりはないか。

## 町長

現在のところは現状を変える考えはない。

## 武道必修化の取り組みは

本年4月から中学1・2年で武道が必修となっているが、本町の選択種目と授業指導計画を示せ。

## 教育長

従前から取り組んでいる剣道を選択した。指導者に上級有段者を迎え、技術・作法を指導していく。

## 高齢者に対する交通事故対策は

県では人口10万人当たりの死者数が全国ワースト1になり、中でも高齢者の交差点周辺での死亡事故が増えている。町独自の交通事故抑止策の取り組みをしているか。

## 総務課長

毎月1回交通安全の日に広報車での呼びかけや老人クラブでの自転車の安全運転研修、また交通安全母の会でも独居老人宅を訪問し反射テープを配布するなどして、事故防止の啓発を行っている。

## 免許証の返納制度を

町民の足を確保しながら、一方で高齢者に対して特典を付けて免許証の返納を促すことも考えてはどうか。

全体的に道路が暗いように思う。改善が必要ではないか。

## 総務課長

今のところ、町独自の返納制度は設けていない。

照明灯のLEDへの交換や、啓発活動で、少しでも安全・安心のまちづくりをめざす。

# 問 崩壊したライフラインから

## 三木町民を守るためには

### 答 前向きに、検討する



一般質問  
高藤 周介 議員

崩壊したライフラインから、三木町を守るためには、防火水槽の設置が遅れているが、その理由は、

開発箇所に設置する条例はできないか。

#### 総務課長

防火水槽の設置に要する経費が高額であることから、各集落にとって負担が大きいという理由により、増加することができなかった。

開発箇所を取り巻く水環境に対応し、明文化された条例等の制定は非常に困難である。



▲もし水がなかったら…

再度問う。崩壊したライフラインから、三木町を守るためには。

副町長  
前向きに検討する。

第五次町振興計画に基づく施策の推進は

事務事業評価・行政評価・実施計画の見直し・管理方法は、議会説明・町民説明のスケジュールは。

#### 町長

平成23年度の百眼百考会議からの提案を反映した祭りの開催、自治会の活性化などや、南海・東南海地震などの、防災対策に力を注ぎたい。

個々の事業ごとに効率的・効果的な執行に向けて改善を、毎年実施している。施策評価は中期的サイクル・政策評価は

長期的サイクルで行い、これらを階層的に組合せて目標の達成を目指す。  
上半期中には結果を議会にも報告し、公表したいと考えている。

#### 三木町の産業振興は

三木町特産品認定制度を創設せよ。  
補助制度を設けてはどうか。

#### 産業振興課長

特産品・名産品、町の理想とするデザインと三木町のPRに寄与するものは、販売実績の上がるものを、今後開催されるイベント内容に合わせて考えていきたい。  
補助制度への取り組みは、難しい。

#### 青少年健全育成は

家庭・地域・学校・教育委員会が、児童・生

徒の暴力行為にどう取り組んでいるのか。町独自の対策は。  
生徒の将来を考えると、どのような対応・指導をしていくつもりなのか。

#### 教育長

学校と家庭、学校と教育委員会が連携して「その日のことはその日のうちに」を合言葉に誠心誠意解決に取り組んでいる。  
教育委員会は、育成センターで年2回、小学校中学校と近隣の高等学校の生徒指導担当、東署の担当が一同に会して、暴力行為の予防や対策について情報交換を行っている。  
適切な進路の確保に誠心誠意尽力している。



## 問 「獅子たちの里 三木まんて願。」

どんな祭り

## 答 ベルシティと交流プラザ周辺を メイン会場とする祭りである



一般質問  
十川 治郎 議員

開催内容は。

### 政策情報課長

「活き生きふれあいまつり」に代わる祭りで、タイトルは公募により「獅子たちの里三木まんて願。」に決定した。

6つの専門部会（獅子舞部会・獅鼓舞三木音頭部会・豊年満作ゾ

ーン部会・スクールゾーン部会・三木自慢三木ブランドゾーン部会・商売繁盛部会）を設け、内容を検討中である。

開催スケジュールとボランティアの募集・役割は。

政策情報課長  
開催日は、平成24

年10月27日（土）午後1時～9時で、雨天中止とする。ボランティアの募集は、イベント内容の決定後、順次募集する。

三木町商工会との協力体制に説明不足との声があるが。

### 町長

祭りの成功のためには、商工会の協力が不可欠である。今後とも協力体制の構築に努める。

祭りの予算として3146万円が上程されているが、額が大きいのは。

### 町長

新しい祭りを実施

する初年度ということとで、新規に製作費等が必要だが、節約に努める。

### 商工観光課（仮称） 新設の考えは

町の産業を発展させるには、専門化した部署を設置することが必須である。工業・商業・観光に特化した商工観光課の新設の考えは。

### 政策情報課長

1次産業・2次産業・3次産業が連携する6次産業の取り組みがされているため、同じ課内での情報の共有が必要である。また、現在の職員数

から考えると、商工観光に特化した課の新設は難しい。

### 公立幼稚園の再編と 総合こども園構想の 位置づけは

学校適正化審議会の答申が出された平井地区公立幼稚園の統合の必要性と緊急性、またその中で幼保一体型保育をどのように考えるか。

### 教育長

次世代を担う子どもたちに十分な学校教育と保育環境を提供するためには、現在の小規模横並びの幼

稚園体制では不十分である。

平井地区での統合した幼稚園型認定こども園をつくることにより、町内幼稚園の牽引役となる機関車とした。

三木町の場合は、私立保育所・幼稚園の役割を十分尊重すべきであると考える。国の総合こども園システムは、本町にとっては時期尚早との答申を受けている。

### その他の質問

○地域主権改革について



▲ベルシティ・文化交流プラザ間の道路  
このストリートで獅子たちの乱舞が



▲氷上保育所1歳児・2歳児の皆さん  
この子たちの未来が幸せでありますように

# 問 幼児教育のめざす方向は

**答** 大切な時期である  
これまで以上に充実させたい



一般質問  
三木 和則 議員

国の総合こども園構  
想とは別に、三木町では  
新しい「幼稚園システ  
ム」が検討されている  
ようである。教育長が  
考えるこれからの幼稚  
園教育について問う。

町長は、これからの  
幼児教育についてどの  
ように考えるか。

町長  
子育てを取り巻く環  
境は少子化の進行、核

教育長  
町内の稼働中の幼  
稚園は各学年1学級  
で定員に満たない状況  
にある。

町内幼稚園の新体  
制づくりが求められて  
いる現在、三木町独自の「幼稚園型認定こども園」を作り、それを  
中核とした新しい町内  
幼稚園体制づくりを  
目指している。



▲子どもの笑顔はまちの宝(平井幼稚園)

家族化などにより大き  
く変化しており、これ  
まで以上の支援策が必  
要と考える。保育サー  
ビスを質・量ともに向  
上させ、また、公立・  
私立の並存を基本とし  
ながら子育て環境の創  
造を推し進めたい。

統合する平井地区の  
幼稚園について、場所・  
予算・規模についての  
検討はしているのか。

町長  
今後どうするか  
は、これからの検討課  
題である。

幼児教育の場での職  
員が正職員より臨時職  
員の方が多い。

未来ある子どもたち  
のためにも、正職員で  
お願いしたい。

町長  
同感である。幼児  
教育の場は一番大事  
な時期である。できる  
だけ正職員、経験豊  
富な方をお願いした  
い。保育所の場合、正  
職員が3分の1、臨  
時職員が3分の2で  
ある。2、3年のうち  
に逆転したい。

## 廃校の早期の活用を

平成18年3月末で廃  
校となった神山幼小中  
学校は、いまだ活用さ  
れずに物置状態であ  
る。活用の良い策はな  
いか。また、来年度から  
は、誰が管理するのか。

町長  
跡地利用について  
は、地元の意見を尊重  
するとともに、まちづ  
くりの一環として地元

の振興につながるもの  
を考えたい。何らかの  
施設や企業を誘致し  
たいと考えており、  
2、3の話があるが、  
まだ決まっていない。  
管理については、新  
年度も「奥山をよくす  
る会」をお願いした  
い。

## その他の質問

- 幼小中学校の2学  
期制について
- 耕作放棄地対策
- 自然エネルギーの活  
用策



▲廃校となっている神山幼小中学校

# 7項目

# 町長はこう答えた!

昨年の12月定例議会において、決算特別委員会からの、平成22年度各会計決算についての7項目の指摘事項に対して、町長から今後の取り組みについて報告があった。



## 1 自主防災組織の活動の充実を

町長

防災資材・機材を活用した自主防災訓練を推進し、避難勧告等発令時に自助・共助の取り組みが適正に機能できるように努める。

## 2 補助金や委託料の見直しを図れ

町長

住民への説明責任が果たせる合理的な補助金の厳選、公正かつ効率的な委託形態の実現に向けて、鋭意改善に努める。

## 4 各種医療制度の充実と利用度の低い制度の見直しを

町長

子育てしやすい環境づくりのため、育児の相互援助活動を行うファミリー・サポート・センター事業を高松市と連携し、引き続き実施していく。

## 5 町税は貴重な自主財源

町長

税負担の公平性や自主財源の確保の重要性から、法令等に基つき収納率の向上に努めている。

## 7 町内全域への路線拡大の検討を

町長

県道山南3線の整備は、改良事業等を県に要望し、暫時整備が行われている。

## 3 下水事業の基本計画を見直せ

町長

下水道への接続率の向上に努めるとともに、水洗化に対する支援制度の導入について検討していく。

## 6 道路網の整備、交通安全施設の充実を

町長

町道砂入荒木線をはじめ主要南北幹線道路整備の推進に努めていく。

町内全域への路線拡大については、予約制乗り合いタクシーも含め調査研究を進めたい。



▲文化交流プラザに設置された防災倉庫と庫内資材

基本計画の見直しは、処理方法を膜分離活性汚泥法に変更するとともに、農業集落排水事業三木東地区は、公共下水道に接続し処理する計画に変更する。

緊急通報システムの見直しについては、どのような方法が有効で効果的か検討する中で見直ししていく。

生活道路の未舗装道の解消は、今後、県営で完了しているほ場整備地内の幹線道路の舗装整備を行う。

# 追跡

第22回

# レポート

どう  
なっとんな?



## ぜき 住吉堰の可動化は

新川河川改修事業における住吉堰改修  
可動化の計画進捗状況は

平成23年9月 一般質問



## 町長答弁

今後も事業の進捗に鋭意努力する。

こうなりました



関連工事に着工しています。

## 交通安全対策を

平井小学校正門前の横断歩道が消えて  
しまっている。子どもたちへ交通ルール  
を教えていくためにも、早急に対応して  
ほしい。

平成23年12月 一般質問



## 町長答弁

県道であり長尾土木事務所から東署へお願  
いする手法となるが、かなりの時間を要する。

こうなりました



新入学生を迎える前に直りました。

# 元気なグループレッスン紹介

## カラオケ「ひいらぎ」会

代表 今田 富雄

「みなさんこんにちは、今日も元気に歌いましょう。それでは声出しをします。お腹から声を出し、音階に合わせて、アエイオウを発声しましょう。今日は男性の歌で、宗谷海峡からです。この歌は日本の北端、宗谷の情景を歌っていますので情緒豊かに、声を前に張るように男らしく歌ってください。」と岡本正先生の言葉からレッスンは始まります。

歌は二人で二曲、各自がテープと楽譜を持参し歌って、先生からアドバイスを受けます。

最近歌っている曲は、夕やけ慕情、遠い空だよ

故郷は、京都白川おんな川、月下美人、などです。

ひいらぎ会は昨年6月に発足、50代から70代まで、男性6名、女性4名が平木文化センターで、月に2回、歌謡曲、演歌、ポップス、デュエット曲を練習しています。

忘年会や親睦会は、カラオケ店を借り切り、料理をいただきながら新しい歌や懐かしい歌を楽しみます。

私たちは「健康で楽しく」をモットーに、これからも目標を持って練習し、発表会、交歓会、そして地域の行事に参加したいと考えています。



▲「ひいらぎ会」の練習風景

# 議会活動

- 1月18日 香川県広報発行町議会連絡協議会主催県外視察研修  
(広島県神石高原町議会)
- 2月17~18日 行財政改革推進特別委員会視察研修
- 20日 教育民生常任委員会
- 29日 議会運営委員会
- 3月1日 下水道推進特別委員会
- 7日 第1回定例議会開会(議案の上程)
- 議会広報編集委員会
- 8日 総務建設常任委員会
- 教育民生常任委員会
- 9日 本会議(補正予算の内容説明、質疑、討論、採決)
- 議会運営委員会
- 議会全員協議会
- 12日 本会議(当初予算の内容説明)
- 15日 本会議(一般質問)
- 16日 本会議(一般質問)
- 21日 本会議(当初予算の質疑)
- 23日 本会議(議案の質疑、討論、採決、請願書の上程、委員会付託の決定)閉会

### お気軽に議会を傍聴しませんか

本会議の傍聴人の定員は、30人です。

●お問い合わせは、議会事務局へ  
☎(087)891-3311

次の定例議会は、6月初旬の予定です。

# 編集を終えて

三木町の皆さま、香川県が「うどん県」と呼ばれるようになったことはご存知でしたか？

私は視察に行く先々で、香川の三木町からですと自己紹介しますと、「ああうどん県ですね」と、遠く離れた市町村の方から覚えていただいています。

これほど、全国的に知名度の高い食材であれば、なにかひとつ手を加えて、新しいうどんの開発に取り組めないか。

三木町発のB級グルメの開発に、各ご家庭で挑戦してみてはいかがでしょう。

(村松 修)

【議会は私たちが編集しています】

- 編集委員長 富田 修司
- 副委員長 渡辺 達実
- 同 委員 香西 茂知
- 同 委員 香西 義典
- 同 委員 村松 修
- 同 委員 藤井 匠
- 同 委員 十川 治郎
- 同 委員 高藤 周介